

カインズホーム、埼玉スタジアム北側に出店へ



さいたま市と都市再生機構が同市緑区東部と岩槻区南部地域で進めている土地区画整理事業「みそのウイングシティ」で、まちづくりの核となる大規模施設用地の一つに、ホームセンターチェーンの「カインズホーム」(本社・群馬県高崎市)が出店を計画していることが、3日までに分かった。

カインズホームが出店を計画している「みそのウイングシティ」の北北街区。右上は東北自動車道。左上は埼玉スタジアム＝さいたま市緑区

「みそのウイングシティ」は、埼玉スタジアム2002と浦和美園駅(埼玉高速鉄道)周辺で進む浦和東部・岩槻南部地域の大規模な都市基盤整備事業。埼玉スタジアムを核に「美しい田園都市」を目指している。

事業実施区域の面積は約313ヘクタールで、東京ディズニーランドの約6・5倍。計画人口は3万1200人。総事業費は約1200億円。

2006年4月には、まちびらきが行われ、同シティ南部には複合型大規模商業施設の「イオンモール浦和美園店」がオープンしている。19年度末の事業完成を目指しており、さいたま新都心と連携した発展が期待されている。

カインズホームの出店予定地は埼玉スタジアムの北西で、東北自動車道の東側に隣接する共同利用地。「北北街区」と呼ばれ、敷地面積は約4・4ヘクタール。東京ドーム約1個分の面積に相当する。都市再生機構などによると、既に土地賃貸契約は締結されているという。

「カインズホーム」はカインズが運営する複合大型ホームセンター。現在、県内28店舗をはじめ、全国23都道府県に185店を展開している。カインズは1989年3月設立。資本金は32億6千万円。12年2月末の売上高は3425億円。今年10月、本社が本庄市に移転する予定になっている。

カインズ広報部は「出店計画はあるが、今の段階では具体的な店舗の規模や建設時期などは未定」としている。